

1月4日：VN指数は5連騰を記録 (VN-Index +0.57%)

- VN 指数は取引開始とともに買い越し高が急増し、昨日からの上昇幅をさらに拡大させた。
- 金融サービスや銀行セクターが指数を大きく押し上げた。一方、市場流動性も午前中に 76.9%増の 11.5 兆ドンに急増した。
- 午後は買いが優勢となったが、たちまち売り圧力に押された。
- 金融サービス、銀行は勢いを失ったものの、指数のけん引役だったことに変わりはない。
- 銘柄別では 299 銘柄が上昇、203 銘柄が下落、84 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 74.1%増加の 25.3 兆ドンとなった。

VN30 指数は相場をけん引 (VN-30 +1.01%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、21 銘柄が上昇、6 銘柄が下落、3 銘柄が横ばいとなった。
- MBB (+4.96%)、CTG (+3.62%)、TPB (+2.58%) といった銀行株が上昇率上位を占めた。
- 一方、MSN (-1.16%)、BCM (-1.14%) が下落率上位となった。

セクター・個別株の動き

- CTG (+3.62%) は持続的な開発を促進するための金融パッケージ「GREEN UP」を発表。同行は 2024 年、環境や社会的利益をもたらすプロジェクトに対し 5000 億ドンのグリーンクレジットを提供する。金利は短期融資が年率 5.8%～、中長期融資が年率 6.2%～となっている。
- AGG (-0.38%) は 2023 年度の業績速報を発表。売上高 3 兆 8000 億ドン（前年比-38.6%）、営業利益 1350 億ドン（同+74.0%）となった。主に、ビンチ

ヤイン地区で 2000 以上の製品規模を持つ複合施設「ウエストゲート」プロジェクトの引き渡しによるものである。

- 外国人投資家は 174 億ドルの売り越しとなった。VCB (+1.66%)、VPB (+1.31%)、MSB (+3.0%) が最も買い越された。一方で、VHM (+0.12%) は最も売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。